

病棟機能別にみた看護師のストレス実態調査

中西 里絵¹⁾ 高橋 陽子¹⁾ 美原 盤²⁾

1)脳血管研究所美原記念病院 看護部

2)脳血管研究所美原記念病院 院長

【目的】本年12月より職場のメンタルヘルス対策としてストレスチェックの実施が義務化される。特に、労働負荷が大きいとされている看護師のストレスを把握することは、看護師の適切な労務管理に繋がると思われる。そこで今回、病棟機能別に看護師のストレスの実態調査を実施した。

【取り組み】急性期病棟31名、回復期リハビリ病棟47名、障害者病棟(神経難病)26名の看護師を対象に「職業性ストレス簡易調査票(57項目)」を用いてアンケート調査を行った。A項目「仕事の負担要因」では仕事をコントロールできていないこと、B項目「ストレスによる症状」では腰痛などの身体愁訴が、3病棟に共通して大きかった。一方、C項目サポート体制については、他病棟と比較し急性期病棟では、上司のサポートが少なく、仕事や生活の満足度が低かった。